

パースエクスプレスが行く 全容解剖ガイド **365日ロットネスト島宣言**

## ツアーも充実

ロットネスト島には、個人ではなかなか経験できないようなアクティビティ満載のツアーがたくさんあります。このページでは、本誌おすすめのツアーを中心に紹介します。内容と時間、料金を確かめて、ぜひ参加してみてください！

### 遊覧飛行 Sightseeing Flight

Rottneest Air Taxi 社が提供している、ロットネスト島を上空から見渡せるツアー。海の青さに感動間違いなし！事前予約が必要なく、料金も手頃なので気軽に参加できる。問い合わせ先は P14 を参照。



**飛行時間** 約 10 分 **料金** \$28(1人あたり)

### サンセット・ツアー Sunset Tours



息を呑むような美しい夕日を、シャンパン、軽食と一緒に楽しむことができる。コースは、ワジェマップ灯台、オリバーヒル、ウエストエンドの3つから。スケジュールの確認と予約はビジターセンターにて。

### ガイドウォークツアー Guided Walk Tours

島の知識豊富なボランティアガイドと一緒に、島の見どころを歩いて回るツアー。ツアーは全てソルトストアの前から出発する。

#### ●町の歴史 History of the Settlement

(毎日催行 出発時間:2pm 所要時間:1時間)  
※金曜日は 11am から催行。  
看守や船乗りの居住地巡り。また、1839 年以降、

#### ●難破船と海員 Reefs Wrecks and Daring Sailors

(月、水、土曜日催行 出発時間:11am 所要時間:1時間)  
船の座礁を防ぐ水先案内人として活躍したクルー(1838 ~ 1903 年)の宿泊施設やボートのレプリカを見学する。

#### ●クウォッカ・ウォーク Quokka Walk

(毎日催行 出発時間:1pm 所要時間:45分)※月、水、金曜日は2:30pmから催行。  
島のシンボルである、クウォッカ探しのツアー。ガイドが語るクウォッカの生態などの話も興味深い。



**その他の主なツアー** ※チケットは町のメインバス・ストップで購入できます。



- Two Hour Island Coach Tour (毎日催行 所要時間:2時間) 料金:大人 \$24.30、子ども \$12.20  
運転手によるガイド付きバスツアーで、島の歴史、環境、遺産、野生動物を巡る。時間がない人に最適。
- Wadjemup Lighthouse Tour (毎日催行 出発時間:9am) 料金:大人 \$15、子ども \$6  
島で唯一、一般に開放されているワジェマップ灯台。155 段の階段を上れば、360 度の絶景が見られる。
- Oliver Hill Train & Guns Tour (毎日催行 所要時間:2時間) 料金:大人 \$16.60、子ども \$8.00  
鉄道に乗ってオリバーヒルへ行くガイド付きツアー。第二次大戦時の大砲や地下のトンネルを探索できる。

Photo Courtesy of Rottnest Island Authority

他にも夏季のみ催行される水中観測船のツアーなどたくさんのツアーがあります。ロットネスト島管理局のウェブサイトをまたは、電話でチェックしよう (P19 参照)。 ※上記の内容は、2007 年 5 月現在のものです。

パースエクスプレスが行く 全容解剖ガイド **365日ロットネスト島宣言**

## ロットネスト島をもっと楽しむために

ここでは、島を訪れる際に予め準備をした方が良いもの、注意したい点、そしてちょっと変わった楽しみ方を紹介します！

### 準備、注意したいこと

#### 日焼け対策をしっかり

町以外では、日光を遮る高い木や隠れる場所が少ないので、サングラス、日焼け止めクリームなどの準備が大切。自転車に乗るとき、帽子の上からヘルメットを被りたくない人は、サンバイザーなどを利用して日差しから目や肌を守ろう。また、町の外には水道の数が限られているので、水は必ず持参しよう。



#### 上着は必需品

真夏を除いて、昼と朝晩の気温差が大きいのがパース周辺の気候。またロットネスト島では季節によって風が強く、運動の後などはすぐに体温を奪われてしまうので、暖かい上着を1枚持っていると安心。



#### 自転車に乗る時は短めのパンツを履こう

島で貸し出している自転車にはチェーンカバーがついていないため、長いパンツを履いて走るとチェーンの油が付着し、洗濯しても落ちないことも。ゴムバンドをパンツの裾に巻くなどで対応しよう。また、車輪に泥除けがないので、路面が濡れている場合はビニール袋を荷台に巻くと良い。



#### 環境保護を常に考えよう

ロットネスト島では島のユニークな環境保護が一番の重要ポイント。島に行ってみると、ゴミ箱の多さにまず驚くはずだ。ゴミのポイ捨ては絶対にやめ、ゴミは必ず分別しよう。町以外の場所に行く人は、ゴミ袋を持っていこう。



### 滞在中に気をつけること

旅行中はつつい気が緩みやすく、思わぬ事故を招くこともあります。ロットネスト島での時間を楽しく過ごすため、滞在中に特に注意したほうがいい点について、ロットネスト島駐在所の警察官、Rod さんにお話を伺いました。



ロットネスト島では駐在している警察官が 24 時間体制で働いており、定期的にパトロールを行なっています。島で一番多いのは、アルコール関連の問題です。路上での飲酒は禁じられています。そのほか、島にはたくさんのルールがあります。例えば、自転車に乗る時は安全のため常にヘルメットを着用すること。騒音規制として、夜 11 時以降は大きな音楽をかけたり、騒いだりしない、などです。ロットネスト島はとても安全だと思っている人が多いですが、基本的には他の場所と変わりありません。休日だからといって気を緩めず、宿泊する方は戸締りをしっかりとするなど適切な行動を取って、島での時間を楽しく過ごしてもらいたいですね。



Rod さん

### こんな過ごし方はどう!?

#### 島 1 周自転車の旅

ロットネスト島は道路の起伏が大きいので、自転車で 1 周するとなると体力的に結構きつい。また、景色をゆっくり楽しみながら周ると時間がなくなってしまい、1 日で島を全部周りきるのは至難のワザ。それでも、島の風を感じながら走り、やり遂げた後の爽快感は格別なので、どうしても島を 1 周したい! という方にはぜひ挑戦してみてください。ロットネストを楽しみ尽くすには、島に宿泊して、1 日を島 1 周の旅に当て、残りの日はビーチなどでゆったりと過ごすのがおすすめです。



- ※体験者の参考データ
- 本誌編集部男性記者
  - (20 代半ば・身長 180cm・体育会系・でも喫煙者)
  - コース:時計回りで島 1 周をこぎつづける
  - 所要時間:3 時間 10 分

#### オージー流ロットネストの過ごし方

ロットネスト島を訪れるオージー(オーストラリア人の愛称)は、家族や友達とのんびり過ごすのが一般的。お昼前に島に到着し、近くのビーチでバーベキューをしてから、後は帰りのフェリーの時間までゆっくり過ごす、というのが代表的な過ごし方で、普通の観光客と比べると行動範囲が狭いのが特徴だ。日程の限られた旅行で、1 つの場所でただのんびり、というのは少しもったいない気もするが、違う文化を実体験することによって何か新しい発見があるかもしれない?!

